

令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書

ボランティア団体 TEAM 虹の戦士

第1回活動報告（令和6年12月21日～令和6年12月23日実施分）	…	p1～2
第2回活動報告（令和6年12月31日～令和7年1月1日実施分）	…	p3
第3回活動報告（令和7年1月11日～令和7年1月13日実施分）	…	p4
第4回活動報告（令和7年2月22日～令和7年2月24日実施分）	…	p5～6
第5回活動報告（令和7年3月14日～令和7年3月16日実施分）	…	p7～8

令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書 (令和6年12月21日～23日活動分)

令和6年12月21日（土）から23日（月）にかけ、2班に分かれて能登町および輪島市において災害ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

■ 活動日時：令和6年12月21日（土）～23日（月）

■ 活動内容

1日目（12月21日）：能登町内の炭焼き小屋の泥だしおよび釜の解体・再建作業

2日目（12月22日）：（A班）輪島市千枚田地区における重機による土砂撤去・運び出し
（B班）能登町松浪地区での側溝泥出し、被災土蔵の物品運び出し・整理作業

3日目（12月23日）：（A班）崖崩れに伴う個人宅敷地土砂搬出作業、（B班）仮設住宅におけるサンププロジェクト

■ 各日程の活動概要

1日目



2日目（A班）



2日目（B班）



令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書 (令和6年12月21日～23日活動分)

令和6年12月21日（土）から23日（月）にかけ、2班に分かれて能登町および輪島市において災害ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

■ 各日程の活動概要

3日目（A班）



3日目（B班）



■ 本日程の活動についての所感

初日作業は生業再建のための作業であり、緊急性は低いものの同様の生活基盤再建のボランティア需要は現地で潜在しているものと思われ、ボランティア側のアプローチ如何によって今後ニーズの掘り起こしが進む可能性が高い。

2日目A班が対応した重機による道路復旧作業は、人力のみでは手に負えない大規模作業であり本来は行政が資金と人員を投入して対応すべき案件と考えられる。一方で2日目B班・3日目A班が対応した個人宅敷地内の泥出し等については小規模ながら人力での対応が必須の作業でもあり、高齢化率の高い現地世帯からのニーズは今後も継続するものと思われる。

3日目B班が実施したイベントについては、現地での娯楽の少なさを補完するとともにボランティアと現地住民の交流を促す等の効果が見込め、折に触れて継続的实施が望まれる。

令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書 (令和6年12月31日～令和7年1月1日活動分)

令和6年12月31日（火）から令和7年1月1日（水）にかけ、能登町において災害ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

■ 活動日時：令和6年12月31日（火）～ 令和7年1月1日（水）

■ 活動内容

1日目（12月31日）： 能登町年越しカウントダウンイベント開催補助 及び追悼キャンドルイベント開催補助

2日目（1月1日）： 能登町内2会場での発災1年追悼イベントの開催 及び交流サロン活動

■ 各日程の活動概要

1日目



2日目



■ 本日程の活動についての所感

能登地震発災から丸1年となる大晦日～新年にかけ、地元恒例の花火カウントダウンイベントに合わせる形で行われる震災1年追悼イベント（キャンドルナイト：主催一般社団法人LOVE FOR NIPPON）の共催者として、OPEN JAPANの1ユニットとしてイベント運営を行なった。

当該時期には地元に住み続ける被災住民はもちろん、発災後地元を離れた元住民も年末年始に一時帰郷するなどの動きがあり、そこにタイミングを合わせた追悼イベントや飲食を伴う交流サロンの開設は被災住民同士の再会や交流の場の提供につながったものと考えられ、現地コミュニティの再活性化に有効な手段であったと思われる。

またイベント実施においては地元住民の方々が積極的に運営サポートいただく場面もあり、地域住民同士のみならず、住民とボランティアとの交流の機会としても有効であった。

一方で、1年前の元日との落差を嘆く声や、発災後1年経っても復旧・復興が部分的にしか進まない現状に対する不安の声、または災害をきっかけとする人口流出が加速する地域の現状への危機感なども多く聞かれた。

能登についての報道が減少することで「能登が忘れられる」ことを危惧する声は多い。外部から支援に入るボランティア団体の立場としては、現地での復興・復旧活動を継続することは勿論、「被災地域での活動内容や地域の現状」についての草の根レベルでの情報発出が、災害記憶の風化を防ぎ住民の総合的なQOL復旧・向上ために改めて重要であると思う。

令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書 (令和7年1月11日～13日活動分)

令和7年1月11日（土）から13日（月）にかけ、能登町および輪島市において災害ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

■ 活動日時：令和 7年1月11日（土）～ 13日（月）

■ 活動内容

1日目（1月11日）：能登高校生との交流会 及びOJ拠点において豪雨被害を受けた汚損写真の洗浄

2日目（1月12日）：（A班）柳田地区さくら団地において土砂の泥出し
（B班）仮設住宅住民向け交流サロン開催・マッサージ施術

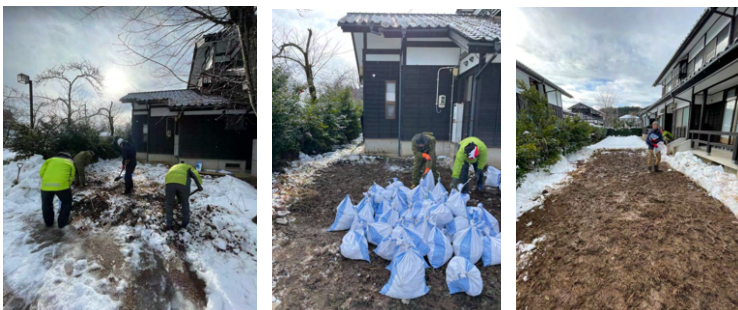
3日目（1月13日）：輪島市千枚田周辺の民家裏土砂崩れの泥出し

■ 各日程の活動概要

1日目



2日目（A班）



2日目（B班）



3日目



■ 本日程の活動についての所感

初日は天候不良のため室内での活動。土砂に埋もれた写真が出てくるのは公費解体後であることもあり今後も写真洗浄ニーズは増加する見込み。2日目のマッサージ施術付き交流会も同じく長期的な被災住民ニーズに応えるものと考えられる。

2、3日目の土砂撤去作業は重機が入れない民家裏等での活動が主であり、人力で対応せざるを得ないため引き続きボランティアニーズは必要。但し2日目の現場は敷地内に積もった10cm程度の土砂撤去であり緊急性は低く、被災者の意向と被災地全体での優先順位の選定は検討事項だと思われる。

令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書 (令和7年2月22日～24日活動分)

令和7年2月22日（土）から24日（月）にかけ、能登町・輪島市及び穴水町において災害ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

■ 活動日時：令和7年2月22日（土）～24日（月）

■ 活動内容

1日目（2月22日）： OpenJapan拠点内での土嚢作成

2日目（2月23日）：（A班）焚き火&BBQイベント、（B班）能登町内神社周辺の木材撤去作業（AM）～焚き火&BBQイベント

3日目（2月24日）：（A班）OpenJapan拠点内での土嚢作成～能登町内での落語会イベント

（B班）OpenJapan拠点整理～輪島市・穴水町現地視察・住民交流

■ 各日程の活動概要

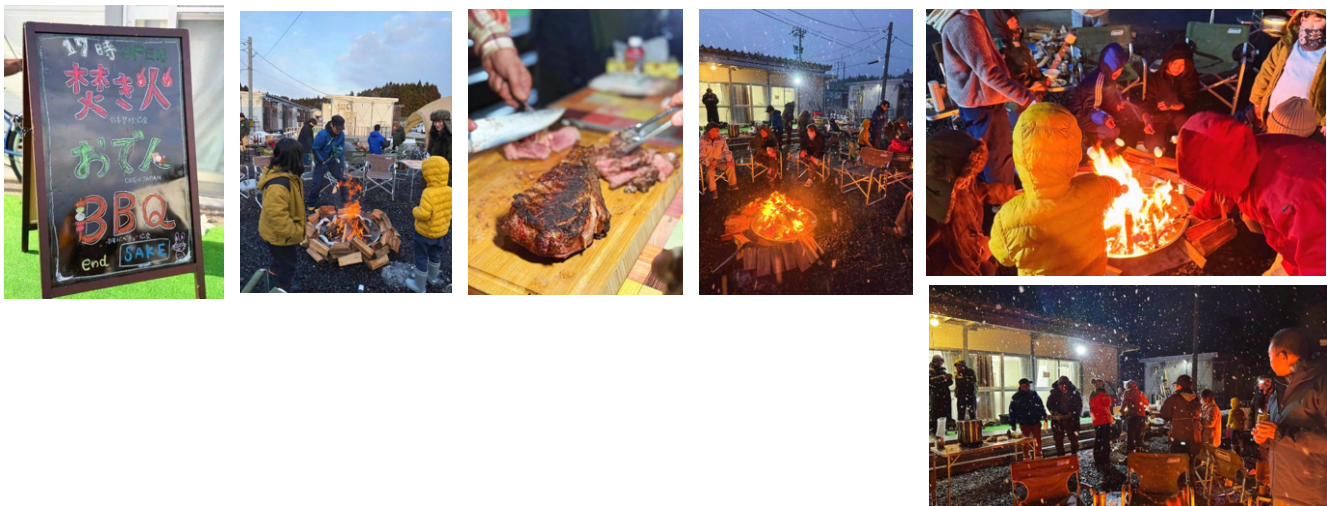
1日目



2日目（B班:AM）



2日目（A班・B班）



令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書 (令和7年2月22日～24日活動分)

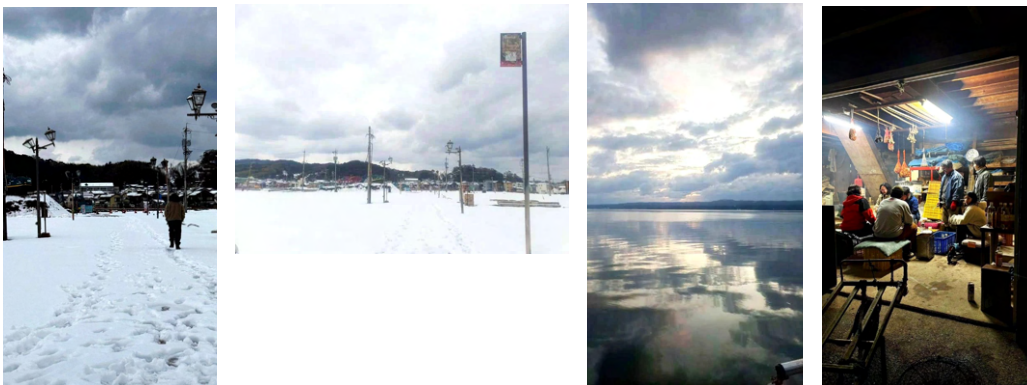
令和7年2月22日（土）から24日（月）にかけ、能登町・輪島市及び穴水町において災害ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

■ 各日程の活動概要

3日目（A班）



3日目（B班）



■ 本日程の活動についての所感

降雪による影響を受け、1日目と3日目の屋外作業はOpen Japan内敷地内での土嚢造りに変更。北陸特有の冬季天候不順によりボランティア案件遂行に支障が発生することはやむを得ず。

2日目に実施した焚き火&BBQイベントは当会としては能登で初めて主催する文化系支援であったが、当会メンバーの持つスキルを最大限活用した結果、現地住民・他ボランティア団体からも大変好評であり今後も同様のフォーマットでの開催継続が可能である確信が得られた。

3日目A班が支援した落語会イベントも含め、現地での娯楽提供や住民交流の起点とする目的で同様のイベントの継続的实施は、現地ニーズと合致する限りは今後の現地コミュニティ維持発展に有効な手段であると思われる。

令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書 (令和7年3月14日～16日活動分)

令和7年3月14日（金）から16日（日）にかけ、能登町及び輪島市において災害ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

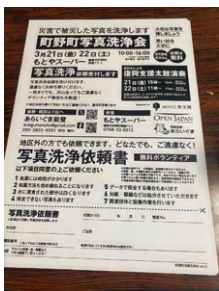
■ 活動日時：令和7年3月14日（金）～16日（日）

■ 活動内容

- 1日目（3月14日）：写真洗浄会開催のための輪島市町野町地区仮設住宅へのチラシポスティング作業
- 2日目（3月15日）：（A班）輪島市大沢での集落内通路の土砂・瓦礫撤去及び宅地泥だし
（B班）能登町寺院敷地内における土砂撤去及び側溝仮修復
- 3日目（3月16日）：個人宅地内の災害ごみ撤去・清掃作業（AM・PM各1件）

■ 各日程の活動概要

1日目



2日目 (A班)



2日目 (B班)



令和6年 能登半島地震および豪雨災害支援報告書 (令和7年3月14日～16日活動分)

令和7年3月14日（金）から16日（日）にかけ、能登町及び輪島市において災害ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

■ 各日程の活動概要

3日目（AM）



3日目（PM）



■ 本日程の活動についての所感

1日目は仮設住宅住民向け写真洗浄会の開催告知ポスティング。イベント開催の成否に関わる重要な作業であるとともに、ポスティング中の地域住民との会話を通じて困り事や要望の吸上げにもつながる活動となっており、長期的な生活支援との連携を図る上でも有効な活動であると考えられる。

2日目に従事した能登町輪島市大沢集落での土砂・瓦礫撤去作業は、長期間の現地交通インフラ不通の影響もあり未だ発災初期段階に近い様相。現場でのボランティア活動も端緒についたばかりのため、大人数かつ中長期のボランティア人員投入による継続的支援が必要な現場である。

3日目の2件の災害ごみ撤去については、一時避難からの元住居への帰還を考える住民にとっては逃れることのできない問題であるが、現地においては膨大な災害ごみの撤去・廃棄の実作業を担う人手や機材の不足が顕著であり、今後も継続的にニーズが発生するものと思われる。